



古代史の舞台を歩く

きびのみちくさこみち

吉備野みちくさ小道

平成21年度認定 / 岡山県総社市 / NPO法人吉備野工房ちみち

大らかな古代の風景の中に文化が香る。

古代王国・吉備国の中心地域だった総社は、桃太郎のモデルといわれる吉備津彦命と鬼神、温羅の伝説も残るロマンに満ちた町です。

663年の白村江の戦いの後、温羅という百済の王子が、朝鮮半島から渡ってきて築いたと言われるのが「鬼ノ城」です。4世紀頃から首長たちが作った巨大な古墳のひとつ、「作山古墳」は全国第9位の規模を誇る前方後円墳です。自由に立ち入って見学できる古墳としては最大級と言われてい

ます。また、国指定の史跡である「こうもり塚古墳」には家形石棺が収められていました。数々の古墳の出土品や資料は、「埋蔵文化財学習の館」で見ることができます。

「備中国分寺」は奈良時代に聖武天皇に



備中国分寺五重塔

数々の古墳や神社 古代遺産の宝庫。



まちづくりの拠点「NPO法人吉備野工房ちみち」



宝福寺の開山堂表門

よって建立された国分寺のひとつです。のどかな田園風景の中に立つ美しい五重塔は吉備路のシンボルです。

室町時代に建てられた「吉備津神社」の本殿は、屋根をふたつにつなげたような「比翼入母屋造り」で全国唯一のもです。吉備津彦命が退治した鬼の首が埋められていると言われ、釜の音で吉凶を占う「鳴釜の神事」が行われる御釜殿、まるで翼を広げたような400メートルもの優美な回廊があります。

こうした、古代から受け継いだ資源を掘り起こし、日常に根付いた文化を多彩な交流サービスに活かすソフト事業として、初めて

夢街道ルネサンス認定を受けたのが、「吉備野みちくさ小道」の活動です。玉どうふなど、伝統的な食材のレシピの考案や体験交流型プログラムを通じて、地域住民をはじめとした県内外の人に、地域の魅力を再発見してもらうための企画を提案しています。自転車での古墳ツーリングや八十八カ所詣などで、吉備野の多彩な魅力を体験できるプログラムを企画し、パンフレットも発行。

吉備野を歩いて風景の中に大らかな古代の人々の息づかいや文化を肌で感じてみませんか。



年月を感じる苔むした幹

みんなが気が付かなかつたお宝を、「みちくさ方式」で磨いていきます。



「NPO法人吉備野工房ちみち」理事長の加藤せい子さん

街道の詳細は・・・

古代から平安、戦国、江戸、そして明治から昭和へと時代とともに変化していく吉備の歴史を歴史として語るだけでなく、私たち暮らしている住民が生活文化の体験を通して知り、今の暮らし、これからのこのまちをみんなで考え変えていけたら…。多様な資源をコーディネートしたり、プロデュースしたりして、どう編集加工して命を吹き込むか。ハードウェアとソフトウェアだけではなく、それに命を吹き込むハートウェアが必要です。それが点を線につなぎ面として広げていくのです。吉備には「余白の美」があります。まだまだ伸び代があると自負しています。

みちくさ小道HP <http://www.chimichi.org/>

吹屋往来 とと道 P97
 かようまで約28km



山陽道矢掛宿 P93

- ① 温羅遺跡
- ② 吉備史跡県立自然公園
- ③ 鬼ノ城
- ④ 久米地区・御崎神社
- ⑤ 開山堂
- ⑥ 總社宮
- ⑦ 吉備路八十八カ所
- ⑧ 備中国分寺
- ⑨ こうもり塚古墳
- ⑩ 造山古墳
- ⑪ 吉備津神社
- ⑫ 中山茶白山古墳
- ⑬ 三因・峠古墳群

サイクリングロード沿いの道標



大小様々な古墳が点在しています。

街道沿いに並ぶお地蔵様

みやま公園まで約30km
 備前福岡七小路往来 P85



交通 ● 吉備野工房ちみちまで
 倉敷ICから車で約10分
 岡山総社ICから車で約10分
 JR東総社駅から約2.2km

お問い合わせ ● 総社市総務部企画課
 ☎0866-92-8213

ぶらり歩いてみよう

久米地区・御崎神社



2体のかわいらしい狛犬が迎えてくれます。

開山堂



登録有形文化財に指定されています。秋の紅葉が見事です。

總社宮

神社を利用したイベントも開催しています。



総社の由来となった神社です。市の重要文化財に指定されています。

吉備路八十八カ所



四国八十八カ所巡りに行くことができます。地元の企業の方のために建てられたそうです。

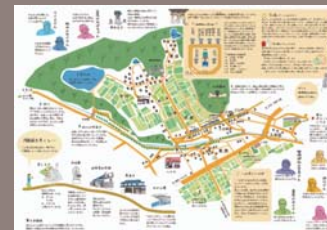
サイクリングロード



田園風景の中を、自然を感じながら気持ちよく走ることができます。吉備野の風や空を感じてください。

イベント・活動

久米マップ



鬼ノ城の麓にある久米地区において、地区住民と協力し、久米の魅力を発信する「久米マップ」の作成を行いました。このマップを活用したウォーキングイベントなども開催されており、久米の魅力が徐々に広がっています。

吉備野ブランド

「吉備野のまちをミュージアムに」をテーマに、文化や歴史、自然などのキーワードに敏感な30代女性に対して、今までは切り口による遊びを通して、まるで吉備野全体が博物館のように、自然に息づく文化や歴史を、常にある楽しい暮らし方として提供する取り組みです。

食で地域を活性化

地元の企業と協力して、吉備野をイメージした様々な「食」の開発を行っています。



特産品を使ったレシピ集「たいせつなひとに、うちのごはん」



古墳をかたどったお饅頭



地元名物玉どうぶを使ったレシピの開発

地域の魅力を最大限に引き出す活動を行っています。

マニア心をくすぐる地域再発見イベント



古代ミッション「古墳審判」

地元の方も知らなかった、身近にある古墳を、ガイドの方のユーモアあふれる解説を聞きながら散策・学習するイベントです。

公式ガイドブックには、吉備野を舞台にした様々なイベントが紹介されています。

オススメ周辺情報

